

2019年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020年4月6日
研究・研修課題名	一からわかるがん臨床研究支援人材養成セミナー
研究・研修組織名(所属)	臨床研究センター治験管理部門(所属:臨床研究センター治験管理部門)
研究・研修責任者名(所属)	杉原 美穂子(臨床研究センター治験管理部門)
研究・研修実施者名(所属)	宇越 郁子 杉原 美穂子(臨床研究センター治験管理部門)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(該当なし)
該当者名(所属)	宇越 郁子 杉原 美穂子(臨床研究センター治験管理部門)
学会名(会期・場所)、認定名等	第23回 日本がん分子標的治療学会学術集会(2019/6/12、13: 大坂 大阪国際交流センター)
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

①目的

がん領域の治験に参加する被験者にとってはリスク・ベネフィットの不確かさが大きいなかで、権利と安全を守り、最小限の負担の中で生活の質を保持することを支持することが大切である。そのなかで看護師CRC(治験コーディネーター)の役割としては、看護のスキル、精神を持って力を尽くすとともに、医師やそのほかのスタッフとともに信頼性のある確かなデータおよび結果を出すことにありと考える。

看護師およびこれまでのCRCとしての経験を活かしながら、治験を実施するチームの中で独自の役割を果たし、当院での治験推進に貢献できるため、本セミナーに参加して基本的事項から目まぐるしく進化する最新の動向についての理解を深める

②方法

がん領域の治験を担当しているCRC2名が下記セミナーに参加し受講する。

「一からわかるがん臨床研究支援人材養成セミナー」

主催:第23回日本がん分子標的治療学会学術集会 会場:大阪国際交流センター(大阪市)

会期:2019年6月12日(水)~13日(木)

受講後、部門内のスタッフへ得られた情報等を伝達することにより、部門全体のレベルアップを図る。

③成果

6月12日は、業務のため聴講することができなかった。がんの治験に携わるCRCとして身につけておくべき基礎、臨床、開発の知識を得て、分子標的薬について知識を深める必要があると考え、今回参加させていただいた。当初は、セミナーのみの参加予定であったが、本会のシンポジウム、セミナーにも時間的に参加できたので、あわせて聴講させていただくことができた。

コンパニオン診断薬・消化器がんの薬物療法・乳がんの薬物療法・婦人科がんの薬物療法・泌尿器

(様式1)

がんの薬物療法・造血器腫瘍の薬物療法・がんの臨床試験（有効性評価、安全性評価）・研究倫理・法的規則、臨床開発モニターの役割・臨床研究コーディネーターの役割・抗悪性腫瘍薬の承認審査・補償と保険について12項目が各30分単位の講義であった。現在リンパ腫の治験を担当しており特に造血器腫瘍の薬物療法は注意深く受講した。造血器腫瘍の病因、分類、染色体検査の意義から分子標的薬の種類から副作用及び今後の課題までとても濃厚な内容であった。

がん領域の治験の担当は、今回はじめてだったので日頃の業務におわれ、専門的な正確な知識のないまま携わっていることを反省し、貴重な学びの機会を得られたことは有意義であった。